

都立国際高校 年間授業計画/Tokyo Metropolitan Kokusai High School Course Syllabus

科目基礎情報/Course information

開講年度/Academic year	令和4年度/2022年度
開講学科/Department	国際学科国際バカロレアコース/IBDP (International Baccalaureate Diploma Programme)
教科/Subject	IBDP Studies in language and literature
科目/Course Title	Japanese B HL
学年・クラス/Year・Class	2年
単位数/credits	6

科目概要情報/Course description

講座概要/Course description	「Japanese B」はある程度日本語学習の経験を持つ生徒を対象とし、5つのテーマ(アイデンティティ・人間の知恵・経験・社会の一員として・かけがえない地球)の学習を通して日本語の表現力、コミュニケーション力を発展させることを目的とした言語習得のコースである。
到達目標/Course objectives	<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語・文化・世界的に重要な考えや問題に関する学習を通して生徒の異文化理解を深める。 2. 学習言語で様々な文脈や目的に応じてコミュニケーションができるようにする。 3. テキストの学習や対話を通して、様々な文化を持つ人々の多様な視点に気づき、それを認め合う気持ちを育てる。 4. 身近な言語と文化の関連性の理解を深める。 5. 身近な言語と文化の関連性の重要性の意識を高める。 6. 他学問分野と関連した言語の重要性の意識を高める。 7. 言語習得や探究の過程を通して、知的な取り組みや批判的・創造的思考力育成の機会を与える。 8. 母語以外の言語の使用を通して、さらなる研究や仕事、余暇活動に必要な基礎を築く。 9. 好奇心や創造性、生涯にわたって言語を学ぶ楽しさを涵養する。
評価方法と評価基準/Evaluation method and criteria	Language B HL ループリックに基づいて評価する。 最終試験 ○外部試験 Paper1 課題作文 Paper2 リスニング、読解 ○内部試験 個人口述試験
教科書/Textbooks	『上級へのとびら』(くろしお出版) 『日本文化を読む』(アルク) 『クローズアップ日本事情』(The Japan Times)
校外学習/Field trip	特になし

授業計画/Course schedule

	指導項目/Topic	指導内容/Contents	評価の方法・基準/Evaluation method and criteria	予定時数/Allocated hours
1学期/1st semester	4月 本コースの概要 アイデンティティ 「言語とアイデンティティ」	学習予定、目標、試験についての説明 評価の方法、評価規準の提示 「言語と文化はどの程度私たちのアイデンティティの形成に影響を及ぼしているか」 言語に関する知識、運用能力を高める。 小説『ナイン』を主体的に読み、登場人物の人物像、心情を話し合う。 語句の意味、慣用表現を理解し運用力をつける。	①IB学習者像に基づく態度 ②授業における演習・議論・口頭発表 ③課題レポート 以上の状況から ア 関心・意欲・態度 イ 思考・判断・表現 ウ 技能 エ 知識・理解 の4つの観点を総合的に判断して評価を行う。 評価に際し、評価基準について生徒に事前に伝える。	22
	5月 アイデンティティ 「健康と幸福」	「アイデンティティは何によって形成されているか」 「健康的な生活とは、どのような概念で、どのようなライフスタイルのイメージに関連付けられるか」 言語に関する知識、運用能力を高める。		22
	6月 経験 「慣習と伝統」	「過去はどのように私たちの現在と未来を形成しているか」 言語に関する知識、運用能力を高める。		34
	7月 経験 「旅」	「旅はどのように私たちの視野を広げるだろうか」 言語に関する知識、運用能力を高める。 小説『ひよこの眼』を主体的に読み、登場人物の人物像、心情を話し合う。 語句の意味、慣用表現を理解し運用力をつける。		32
2学期/2nd semester	9月 人間の知恵 「テクノロジー」	「科学技術の発展は私たちの生活にどのように影響を及ぼしているか」 「メディアは他者との関わり合いをどのように変えているだろうか」 言語に関する知識、運用能力を高める。 星新一の小説を読み、作品の描いている世界と私たちが生きる現代、未来について話し合う。	①IB学習者像に基づく態度 ②授業における演習・議論・口頭発表 ③課題レポート 以上の状況から ア 関心・意欲・態度 イ 思考・判断・表現 ウ 技能 エ 知識・理解 の4つの観点を総合的に判断して評価を行う。 評価に際し、評価基準について生徒に事前に伝える。	22
	10月 人間の知恵 「芸術」	「芸術は、私たちが世界を理解する上でどのような手助けとなっているか」 「芸術表現からその文化についてどのようなことが学べるか」 言語に関する知識、運用能力を高める。		32
	11月 社会の一員として 「人間関係」	「私たち一人一人の社会における役割とは何か」 「社会の中での言語の役割とは何か」 言語に関する知識、運用能力を高める。		22
	12月 社会の一員として 「法と秩序」	「法則と規定は社会の形成にどのような役割を担っているだろうか」 言語に関する知識、運用能力を高める。		12
3学期/3rd semester	1月 かけがえない地球 「環境」	「どのような環境問題・社会問題が世界に課題を残すだろうか。そして、これらの問題はどのように解決できるだろうか」 言語に関する知識、運用能力を高める。	①IB学習者像に基づく態度 ②授業における演習・議論・口頭発表 ③課題レポート 以上の状況から ア 関心・意欲・態度 イ 思考・判断・表現 ウ 技能 エ 知識・理解 の4つの観点を総合的に判断して評価を行う。 評価に際し、評価基準について生徒に事前に伝える。	12
	2月 かけがえない地球 「世界の課題」	「現代社会に生きることは、どのような倫理的な問題を引き起こしているだろうか」 言語に関する知識、運用能力を高める。		12
	3月 総復習	1年間に学んだことを振り返る。 言語運用力の強化。		12